

# 防コミの歩き方



## 地域・学校と連携のもとに～狩口台防災福祉コミュニティ～

狩口台防災福祉コミュニティは、西舞子小学校校区の自治会、老人会、婦人会、民生・児童委員等により組織され、狩口台ふれあいのまちづくり協議会(以下、ふれまち協)を母体として平成11年度に結成されました。狩口台地域福祉センターに拠点と、防災関連機材を収納した倉庫も設置しています。

### 1.地域・学校と一体となった活動

#### ◆地域とともに

自治会などの地域活動団体と連携しながら次のような活動をおこなっています。

#### ☆市民防災リーダー研修会

地域で活動する人材を確保するため、毎年10月に市民防災リーダー研修会を狩口台地域福祉センターで近隣自治会の防災担当者やふれまち協委員とともに、垂水消防署員のご指導により実施しています。

#### ☆地域防災訓練

地域全体での防災訓練を近隣公園で毎年実施しています。今年は3月19日に矢元台公園南側にて地域住人56人とふれまち協の13人が参加し、垂水消防署員5人の支援をいただいて実施し、小型動力ポンプの始動から放水作業までを体験。また、水消火器を使用し家庭用消火器の使用疑似体験もしました。



さらに、高齢化率36.8% (平成27年12月)と高い地域なので要援護者への見守り支援が不可欠であることから、先進的取り組みをしている3自治会から実践

事例の報告をしていただき、他の自治会等でも積極的に取り組みを進める契機となればと願っています。



#### ◆未来を担う子どもとともに

未来の安全安心を担う子どもたちへの積極的な支援をしています。

昨年11月30日には、西舞子小学校校庭において、西舞子小学校全校生徒、先生方とともに訓練をおこないました。垂水消防署、垂水消防団舞子分団の協力の下、全校生の校庭への避難訓練に始まり、各学年により水消火器による消火器使用訓練、布担架による搬送訓練、煙体験、耐震体験、実際にホースを捲いての放水体験をおこないました。

### 2.今後の活動にむけて

今後の活動の充実発展のための課題の第1は、参加する自治会の数を増やし組織を拡充することです。第2は、リーダー養成研修をきめ細かく実施し、担い手を確保することです。第3は、近隣住民相互の助け合いの機運をさらに高めるために、モデル事例の紹介などにより自主的な取り組みを呼び起こす努力を重ねることです。

一歩一歩と前に向かって、地域に根差し、世代を結びつつ、歩みを進めています。



(狩口台防コミ 会長 松原 要)